

第2回 青梅市公共交通協議会

意向調査、利用実態調査の実施

1. 市民アンケート
2. 路線バスOD調査、バス利用者アンケート

平成23年10月31日

1. 市民アンケート

(1) 実施方法

① 配布回収方法

- 調査票を調査対象者あてに郵送配布し、回答は後日郵送回収する。
- アンケートの回収は、宛先は青梅市役所で料金受取人払いとする。
- 実施時期は11月を予定。

② 配布物件

- お願い状(A4判、裏側に関連情報)
- 調査票(A3判)
- 返信用封筒

③ 配布回収数

- 市域全体を対象に調査対象者 3,000 人を無作為に抽出する。
- 市内での配布は、概ね人口の割合に応じて配布する。
- 回収目標数は、回収率 30%と想定して全市で 900 票とする。

表 アンケート配布回収数の想定

		世帯数	人口	人口の割合で配布	
				配布数	回収数
都市的地域	青梅地区	5,027	11,703	251	75
	長淵地区	9,145	22,032	472	142
	大門地区	8,528	20,688	444	133
	東青梅地区	7,582	16,272	349	105
	新町地区	8,411	20,084	431	129
	河辺地区	7,533	16,191	347	104
	今井地区	4,682	11,341	243	73
	梅郷地区	4,352	11,094	238	71
	小計	55,260	129,405	2,775	832
中山間地域	沢井地区	1,575	3,817	82	25
	小曾木地区	2,262	4,372	94	28
	成木地区	1,147	2,266	49	15
	小計	4,984	10,455	225	68
合計		60,244	139,860	3,000	900



(2) 調査票の作成

- アンケートの目的は、市民の日常生活における移動を支える、市内の公共交通サービスに関する問題点や課題を抽出するとともに、公共交通網の見直しに向けて市民の意向を反映できるようにすることにある。
- アンケートにおける課題抽出・市民の意向把握は、現状からみた公共交通の課題を踏まえて、以下の視点に沿って設問を構成する。

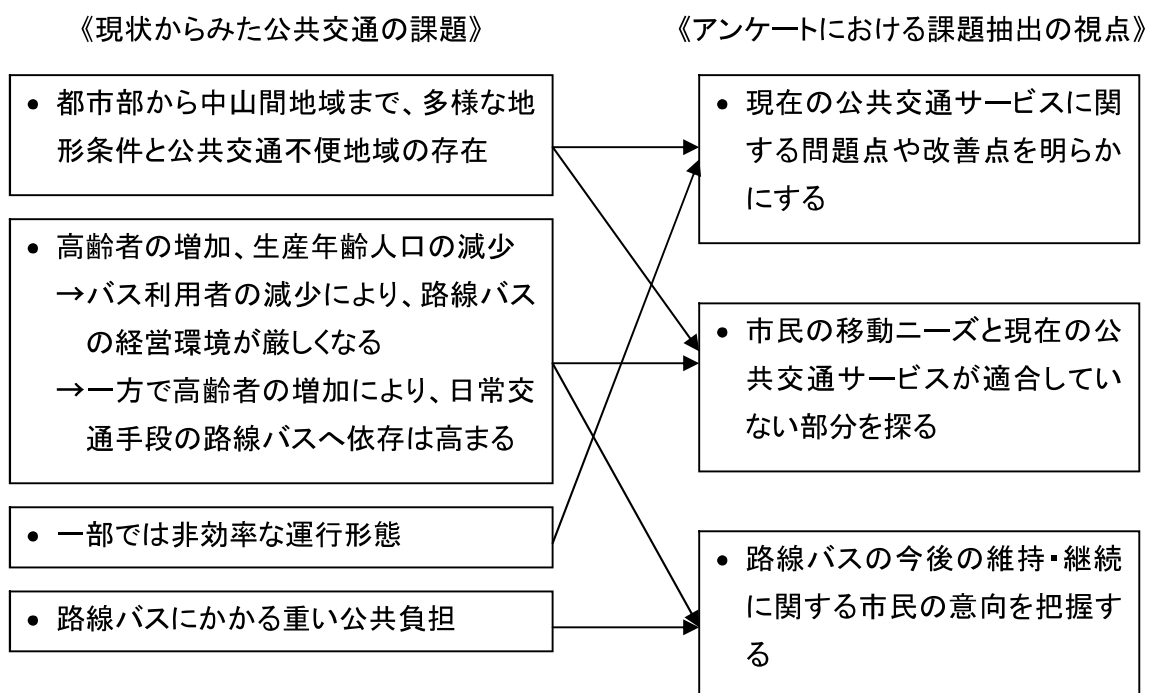


図 アンケートにおける課題抽出の視点

表 アンケートの設問構成案

分析のねらい	課題抽出の視点	設問項目
① 基礎情報取得	→世帯の属性 →世帯の交通環境 →世帯のバス利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 居住地 ● 世帯構成人員（年齢、性別） ● 自動車利用環境（専用・共用別、保有台数） ● 公共交通利用環境（最寄りの鉄道駅・バス停、アクセス手段、時間） ● 青梅市内のバス利用状況（バス利用者の有無、行先、目的、時間帯、頻度）
② 改善点の明確化	→現在の公共交通サービスに関する問題点や改善点を明らかにする	<ul style="list-style-type: none"> ● バス交通に関する重要度・満足度（情報提供、運行経路、運行頻度、運行時間帯、定時性、運賃、バス停位置、乗り継ぎ、バス待ち環境、車両） ● 上記問題点の具体的な改善箇所・内容
③ 移動ニーズの把握	→市民の移動ニーズと現在の公共交通サービスが適合していない部分を探る ・市民の移動権が確保されているか	<ul style="list-style-type: none"> ● 世帯の中に、日常生活上の移動に関して、困っている人、不便を感じている人はいるか ● 困っている人はどんな人か ● どのような場面で困っているのか（行先、目的、時間帯、頻度） ● 困っている理由は何か ● 上記問題点の具体的な改善箇所・内容
④ 路線バスに対する意向把握	→路線バスの今後の維持・継続に関する市民の意向を把握する ・路線バスの必要性 ・公的負担に対する意向 ・日常生活で路線バスを利用する上で必要最低限のサービス水準	<ul style="list-style-type: none"> ● 世帯の日常生活にとって路線バスは必要か ● 市内の路線バスを維持するため、年間約1億5千万円を市が負担していることを知っているか ● 路線バスを維持と市の負担についてどう思うか ● 路線バスの経営環境が厳しい中で、今後運行本数が減少した場合、どの程度まで我慢できるか

青梅市からのお願いです

バス交通についてのアンケートにご協力ください

路線バスは、地域の生活の足として重要な役割を担っています。しかし利用者の減少などにより、バス事業者の経営は大変厳しい状況におかれています。

青梅市においては、バス路線の運行を維持するため、赤字路線への補助を行っていますが、今後も路線バスを維持していくためには、バス事業者の経営努力のみならず、行政の公共交通活性化の取組みや地域の皆様に利用していただくことが必要です。

つきましては、今後の路線バスのあり方について、地域の皆様のお考えをうかがうため、アンケートを実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。

お答えいただいたアンケートは、返信用封筒に入れて**11月25日(金)**までに、ポストへご投函くださるようお願いいたします。

平成 23 年 11 月

青梅市長 竹内 俊夫

《 問い合わせ先 》

青梅市企画部企画調整課 0428-22-1111(代表) 内線 2423

青梅市東青梅 1-11-1

《 本調査について 》

- ・ 本アンケートは、今後の青梅市の公共交通を考える上で大変重要なものです。世帯の皆様に関係することですので、ご家族の方と一緒に回答していただくと幸いです。
- ・ 回答いただいたアンケートの内容は、統計的に処理します。また、上記目的以外に使用することはございません。
- ・ 回答は、選択肢の番号に○をつけるか、_____の部分に具体的な内容をご記入ください。

青梅市の公共交通に関するアンケート

1 あなたとあなたの世帯についてうかがいます。

お住まいはどちらですか		青梅市_____町_____丁目	
あなたの性別は		1) 男性 2) 女性	
あなたの年齢は		1) 14歳以下 2) 15～39歳 3) 40～64歳 4) 65～74歳 5) 75歳以上	
世帯の構成を 教えてください		男 性	女 性
	14歳以下の方	_____人	_____人
	15～64歳の方	_____人	_____人
	65歳以上の方	_____人	_____人
あなたの世帯では自動車を保有していますか		1) 持っている 2) 持っていない ↳ (個人専用_____台、家族共用_____台)	
ご自宅の最寄り 「バス停」につ いてうかがいます	最寄りのバス停 をご存知ですか	1) 知っている 2) 近くにバス停はない 3) 知らない ↳ (バス停名_____)	
	そこまでの所要時間	徒歩で_____分	
ご自宅の最寄り 「鉄道駅」につ いてうかがいます	最寄りの鉄道駅は どこですか (1つだけ)	1) 小作 2) 河辺 3) 東青梅 4) 青梅 5) 宮ノ平 6) 日向和田 7) 石神前 8) 二俣尾 9) 軍畑 10) 沢井 11) 御嶽 12) その他→駅名_____	
	そこまでの主な 交通手段(1つだけ)	1) 徒歩 2) 自転車 3) バイク 4) 自家用車 5) バス 6) タクシー・他	
	そこまでの所要時間	自宅から駅まで_____分	

青梅市内の 路線バスの 利用につ いてうかがいま す	ご家族(あなたも含め) にバスを利用する方は いらっしゃいますか	1) いる 2) いない→ 3 へお進みください	
	その方の性別は (お2人までご記入ください)	1人目の方	2人目の方
		1) 男性 2) 女性	1) 男性 2) 女性
	その方の年齢は	1) 14歳以下 2) 15～39歳 3) 40～64歳 4) 65～74歳 5) 75歳以上	1) 14歳以下 2) 15～39歳 3) 40～64歳 4) 65～74歳 5) 75歳以上
	利用するバス停区間は	_____～_____	_____～_____
	そのバスでの移動目的 は何ですか(1つだけ)	1) 通勤 2) 通学 3) 買物 4) 病院 5) その他	1) 通勤 2) 通学 3) 買物 4) 病院 5) その他
	そのバスの乗車時刻 (24時間表記で)	_____時_____分頃	_____時_____分頃
そのバスの利用頻度は (1つだけ)	1) 週5日以上 2) 週3～4日 3) 週1～2日 4) 週1日未満	1) 週5日以上 2) 週3～4日 3) 週1～2日 4) 週1日未満	

2

この質問は、前問のバスを利用する方にお答えいただいでください。

(1) 利用する路線バスの、「サービス内容」に対する満足度はどのくらいですか。

サービス内容	1人目の方					2人目の方				
	1 満足	2 まあ満足	3 普通	4 やや不満	5 不満	1 満足	2 まあ満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
時刻表や経路等の情報のわかりやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
運行経路、バスの行先	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
運行本数	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
始発時刻	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
終発時刻	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
時刻表どおりの運行	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
運賃	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
バス停間隔(バス停位置)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
鉄道との乗り継ぎ(バス停)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
鉄道との乗り継ぎ(時間)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
バス停でのバス待ち環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
バス車両の乗降のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

(2) 上記の「サービス内容」のうち、路線バスを利用するに当たっては何が重要ですか。(2つまで)

1人目の方	2人目の方
1) 時刻表や経路等の情報のわかりやすさ	1) 時刻表や経路等の情報のわかりやすさ
2) 運行経路 3) 運行本数 4) 始発時刻	2) 運行経路 3) 運行本数 4) 始発時刻
5) 終発時刻 6) 時刻表どおりの運行	5) 終発時刻 6) 時刻表どおりの運行
7) 運賃 8) バス停間隔(バス停位置)	7) 運賃 8) バス停間隔(バス停位置)
9) 鉄道との乗継(バス停) 10) 鉄道との乗継(時間)	9) 鉄道との乗継(バス停) 10) 鉄道との乗継(時間)
11) バス停でのバス待ち環境	11) バス停でのバス待ち環境
12) バス車両の乗降のしやすさ	12) バス車両の乗降のしやすさ

(3) 青梅市内の「現在の公共交通サービス」について、改善等の要望がありましたら具体的にご記入ください。

3 日常生活における「外出時の移動」についてうかがいます。

(1) 世帯の中(あなたご自身も含めて)に、日常生活における「外出時の移動」に関して、困っている方や不便を感じている方はいらっしゃいますか。

1) いる→(____人) 2) いない→ **4** へお進みください

(2) 外出時の移動に関して、困ったり不便を感じているのは、どのような方ですか。

※2人以上いらっしゃる場合は、お2人までご記入ください。

	1人目の方	2人目の方
性別	1) 男性 2) 女性	1) 男性 2) 女性
年齢	1) 14歳以下 2) 15～39歳 3) 40～64歳 4) 65～74歳 5) 75歳以上	1) 14歳以下 2) 15～39歳 3) 40～64歳 4) 65～74歳 5) 75歳以上
職業	1) 会社員等の勤め人 2) 自営業 3) パート、アルバイト 4) 専業主婦、家事手伝 5) 学生、生徒、児童 6) 無職 7) その他	1) 会社員等の勤め人 2) 自営業 3) パート、アルバイト 4) 専業主婦、家事手伝 5) 学生、生徒、児童 6) 無職 7) その他

(3) 外出時の移動で困ったり不便を感じているのは、どのような場合ですか。移動内容をお答えください。

	1人目の方	2人目の方
出発地	1) 自宅 2) 自宅以外→ <small>地名</small> ____ <small>施設</small> _____	1) 自宅 2) 自宅以外→ <small>地名</small> ____ <small>施設</small> _____
目的地	地名・施設等_____	地名・施設等_____
移動目的 (1つだけ)	1) 通勤 2) 通学 3) 買物 4) 病院 5) その他→具体的に_____	1) 通勤 2) 通学 3) 買物 4) 病院 5) その他→具体的に_____
出発時刻	1) 出発時刻は____時____分頃 2) 出発時刻は特に関係ない	1) 出発時刻は____時____分頃 2) 出発時刻は特に関係ない
頻度	1) 週5日以上 2) 週3～4日 3) 週1～2日 4) 週1日未満	1) 週5日以上 2) 週3～4日 3) 週1～2日 4) 週1日未満

(4) 外出時の移動に関して、困ったり不便を感じているのは、なぜですか。(1つだけ)

1人目の方	2人目の方
1) 交通手段がなく、徒歩や自転車利用は大変だから 2) 交通手段がなく、送迎やタクシーが必要だから 3) 路線バスはあるが、希望の時間に合わない 4) 出発地から、乗車バス停までが遠いから 5) 降車バス停から、目的地までが遠いから 6) 身体に障がいがあり、路線バスを利用しづらい 7) その他→具体的に_____	1) 交通手段がなく、徒歩や自転車利用は大変だから 2) 交通手段がなく、送迎やタクシーが必要だから 3) 路線バスはあるが、希望の時間に合わない 4) 出発地から、乗車バス停までが遠いから 5) 降車バス停から、目的地までが遠いから 6) 身体に障がいがあり、路線バスを利用しづらい 7) その他→具体的に_____

(5) 上記のことに対して、改善等のご要望がありましたら、具体的にご記入ください。

4 青梅市内の「路線バスの今後の維持・継続」についてうかがいます。世帯の意見としてお答えください。

(1) あなたの世帯にとって、地域を運行する路線バスの必要性を、どのように思いますか。(1つだけ)

- 1) 家族の日常生活には、なくてはならない交通手段である
- 2) 普段は利用していないが、たまに必要などきになると困る
- 3) 現在は必要ないが、将来クルマを運転できなくなったときになると困る
- 4) 自分の世帯には直接必要ないが、駅から遠い人やクルマのない人には必要である
- 5) あまり必要性を感じない

(2) 現在、市内の一部の路線バスは、利用者の運賃収入だけでは、バス運行にかかる経費をまかなえない状況にあります。このため青梅市では、路線バスの運行を維持するため、その赤字への補助として、年間約1億5千万円を税金によって負担(公共負担)しています。

① このことについて、ご存知でしたか。(1つだけ)

- 1) 知らなかった
- 2) 路線バスの赤字は知っているが、赤字への補助は知らなかった
- 3) 知っていた

② 現在の、路線バスを維持するための公共負担について、どのように思いますか。(1つだけ)

- 1) 路線バスを維持するためには、一定の公共負担はやむを得ない
- 2) 公共負担は必要だが、現在の補助額は高いと思うので、もう少し減らすべき
- 3) 路線バスへの赤字補助は必要ない

③ 今後の路線バスの維持と公共負担について、どのようにするべきだと思いますか。(1つだけ)

- 1) 公共負担はこのまま継続して、赤字路線を維持していく
- 2) 公共負担を減らすため、不便になっても、運行本数を減らすなどして運行経費を削減する
- 3) 公共負担を減らすため、市民がバス利用を増やすなどして、路線バスの維持に協力する
- 4) 公共負担を減らして、廃止となった区間には、路線バスより不便でも代替交通手段を用意する
- 5) 公共負担を減らして、その分、運賃を値上げして利用者の負担分を増やす
- 6) バス利用者が減少して維持が困難になったら、廃止もやむを得ない
- 7) その他→具体的に_____

(3) 日常生活をおくる上で、路線バスを利用するとしたら、最低でもどの程度の運行頻度が必要ですか。(1つだけ)

- 1) 最低限、朝、昼、夕に1本程度あればよい
- 2) 最低限、朝、昼、夕に2本ずつ程度あればよい
- 3) 最低でも1時間に1本程度は必要
- 4) 最低でも1時間に2本程度は必要

(4) 青梅市内の「今後の公共交通のあり方」に関して、ご意見がありましたら自由にご記入ください。

本アンケートへご協力いただき、大変ありがとうございました。

ここでいただいたご意見は、今後の公共交通計画の検討に向けて活用させていただきます。

2. 路線バスOD調査、バス利用者アンケート

(1) 実施方法

- 調査対象は、平日に運行している市内の全系統・全便として、調査は平日・1日行う。
- 添乗調査員2人による、調査票（個人属性アンケート付き）の配布・回収方式により実施する。また、日中閑散時、状況に応じてA 4片面程度の調査票（記入式）の使用も検討する。

■調査員A：乗車側（後のり）

- OD調査票兼アンケートの配布
- 乗車バス停で配布した調査票の番号を、乗車バス停調査票に記入
- 受け取り拒否分は不明袋に収納

■調査員B：降車側（前おり）

- OD調査票兼アンケートの回収
- 回収した調査票に、降車バス停コードを記入
- 便別の回収袋に収納

- 市外区間については、途中で調査票の配布・回収を開始・終了できないため、市外主要ターミナルまで調査を実施する。
- 路線バスOD調査、バス利用者アンケートでは、最終的に市内全系統について、以下のマスターデータを整理する。

表 調査対象系統(青梅市内を通る全系統)

事業者	系統番号	運行区間	
		起(終)点	終(起)点
東京都交通局	梅 01	青梅駅	(玉堂美術館循環) ※土休日のみ
	梅 70	青梅車庫	柳沢駅
	梅 74 甲	裏宿町	(成木循環:トンネル回り、小曾木回り)
	梅 74 乙	河辺駅北口	(成木循環:トンネル回り、小曾木回り)
	梅 76 甲	裏宿町	上成木、上成木(北小曾木経由)
	梅 76 乙	河辺駅北口	上成木、上成木(北小曾木経由)
	梅 76 丙	青梅駅	吉野
	梅 77 甲	河辺駅北口	裏宿町
	梅 77 甲折返	河辺駅北口	(塩船循環:内回り、外回り)
	梅 77 乙	青梅駅	(駒木町循環)
	梅 77 丙	青梅駅	東青梅駅
	梅 77 丁	青梅駅	河辺駅南口
	西東京バス	青 20	青梅駅
河 11		河辺駅北口	小作駅東口、小作駅東口(看護経由)、西東京団地
河 10		河辺駅北口	青梅看護専門学校
小 05		河辺駅南口	小作駅西口
河 13		河辺駅南口	明星大学、明星大学構内
急行		河辺駅南口	イオンモール/サマーランド ※土休日のみ
小 03		小作駅東口	(三ツ原循環:西回り)
小 02		小作駅東口	(三ツ原循環:東回り、東回り深夜)
小 06		小作駅西口	秋川駅
小 13		小作駅西口	菅生高校
小 14		小作駅西口	学びの城・菅生高校
小 15		小作駅西口	菅生学園学びの城
急行		小作駅西口	菅生高校、菅生学園学びの城
羽 31		羽村駅東口	(新町循環:東回り)
羽 32		羽村駅東口	(新町循環:西回り)
羽 33		羽村駅東口	西東京団地
羽 30		羽村駅東口	西東京団地(直通)
御 10	御嶽駅	ケーブル下(滝本駅)	
西武バス	飯 41	河辺駅南口	飯能駅南口
	飯 41-1	東青梅駅	飯能駅南口
	飯 42	岩井堂	飯能駅南口
	入市 32	東青梅駅	入間市駅
	入市 32-1	河辺駅北口	入間市駅
	入市 32-2	七日市場	入間市駅
	入市 32-3	河辺駅北口	原今井

※ 深夜急行バス(立川駅～河辺駅)は含みません。

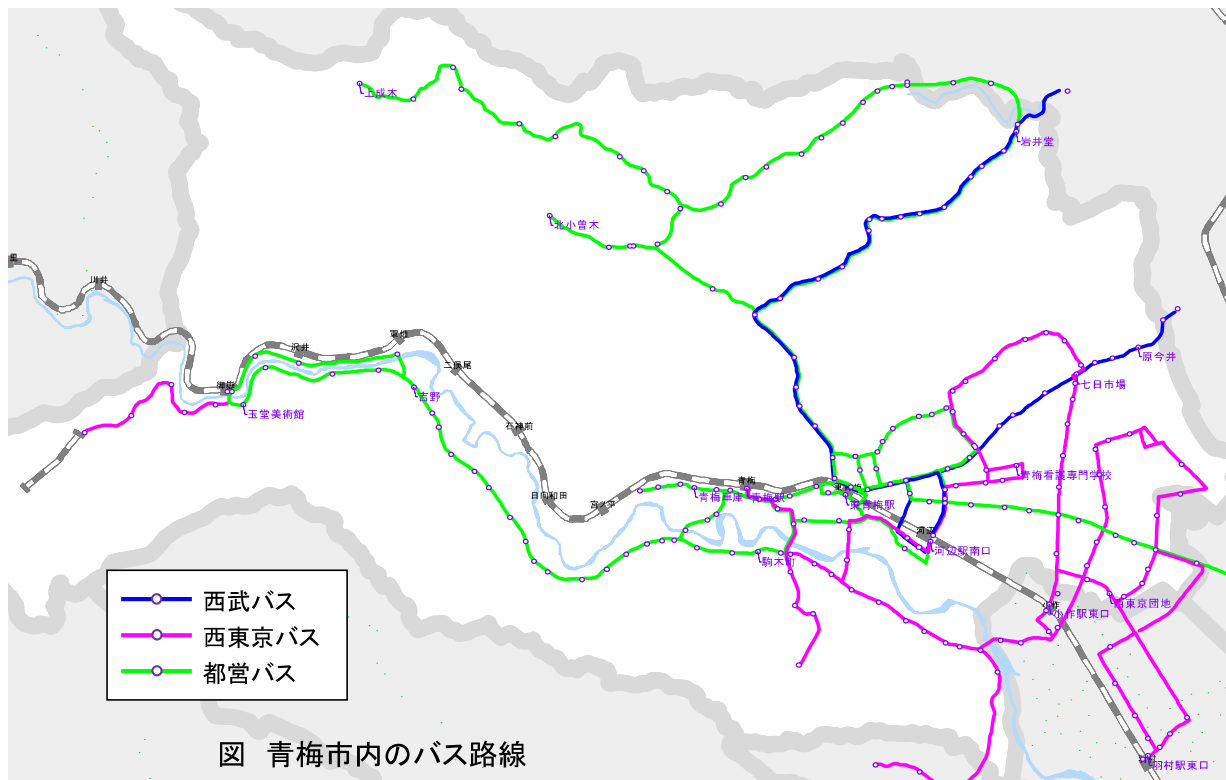


図 青梅市内のバス路線

(2) 調査票類

OD調査票兼アンケート(カードイメージ)

バス交通調査カード	
<p>本日は、青梅市内のバスのあり方を検討するため、利用状況の調査を行っています。</p> <p>誠にお手数ですが、以下のアンケートで当てはまるところに切り込みを入れて、お降りの際に調査員にお渡しください。青梅市</p>	
<p>調査票番号 <input type="text"/> 降車バス停番号 <input type="text"/></p>	
<p>あなたの性別は？</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> 2</p> <p>切り込み</p>	
<p>あなたの年齢は？</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 12歳以下 <input type="checkbox"/> 13～64歳 <input type="checkbox"/> 2</p> <p>切り込み</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 65～74歳 <input type="checkbox"/> 75歳以上 <input type="checkbox"/> 4</p> <p>切り込み</p>	
<p>このバスの利用目的は？</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 通勤 <input type="checkbox"/> 通学 <input type="checkbox"/> 2</p> <p>切り込み</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 買物 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> 4</p> <p>切り込み</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 帰宅 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 6</p> <p>切り込み</p>	
<p>あなたの乗車券は？</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 普通運賃・現金 <input type="checkbox"/> 回数券 <input type="checkbox"/> 2</p> <p>切り込み</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 定期券 <input type="checkbox"/> 一日乗車券 <input type="checkbox"/> 4</p> <p>切り込み</p> <p>5 <input type="checkbox"/> シルバーパス <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 6</p> <p>切り込み</p>	
<p>ご協力ありがとうございました</p>	

乗車バス停調査票

調査日	11月30日(水)
系統番号	梅76丙
方向	青梅駅 → 吉野
発車時刻	10:20
到着時刻	10:40

	バス停	配布番号
1	青梅駅	35、36、37
2	仲町	38
3	滝の上	39
4	大柳	
5	万年橋	
6	畑中一丁目	
7	畑中下西	
8	畑中神社	
9	畑中公会堂	
10	畑中三丁目	
11	明治橋	
12	和田町会館	
13	稲荷神社	
14	下郷	
15	吉野梅林	
16	梅郷	
17	上郷	
18	即清寺	
19	柚木	
20	奥多摩橋	
21	吉野	

※こども運賃区別のため、年齢は
12歳で区切った

調査結果マスターデータ

調査月	調査日	系統番号	起点	終点	発車時刻	到着時刻	調査票番号	乗車バス停	降車バス停	性別	年齢	目的	券種
11	30	梅76丙	青梅駅	吉野	10:20	10:40	35	1	7				
11	30	梅76丙	青梅駅	吉野	10:20	10:40	36	1	5				
11	30	梅76丙	青梅駅	吉野	10:20	10:40	37	1	9				
11	30	梅76丙	青梅駅	吉野	10:20	10:40	38	2	7				
11	30	梅76丙	青梅駅	吉野	10:20	10:40	39	3	8				

青梅市の公共交通に関するアンケート

- 現在、青梅市では、バス交通の今後のあり方を検討するため、バス利用者の方にアンケート調査を行っています。ぜひ、ご協力をお願い申し上げます。
- 本票はバスを降りる際に、記入の有無に関わらず調査員にお渡しください。

(1) あなたのことについてうかがいます。

性別	1)男性 2)女性
年齢	1)12歳以下 2)13～39歳 3)40～64歳 4)65～74歳 5)75歳以上
職業	1)会社員等の勤め人 2)自営業 3)パート、アルバイト 4)専業主婦、家事手伝い 5)学生、生徒、児童 6)無職 7)その他
このバスの利用目的	1)通勤 2)通学 3)買物 4)病院 5)帰宅 6)その他
乗車券	1)普通運賃・現金 2)回数券 3)定期券 4)一日乗車券 5)シルバーパス 6)その他

(2) 現在、市内の一部の路線バスは、利用者の運賃収入だけでは、バス運行にかかる経費をまかなえない状況にあります。このため青梅市では、路線バスの運行を維持するため、その赤字への補助として、年間約1億5千万円を税金によって負担(公共負担)しています。

① このことについて、ご存知でしたか。(1つだけ)

- 1)知らなかった 2)路線バスの赤字は知っているが、赤字への補助は知らなかった
3)知っていた

② 現在の、路線バスを維持するための公共負担について、どのように思いますか。(1つだけ)

- 1)路線バスを維持するためには、一定の公共負担はやむを得ない
2)公共負担は必要だが、現在の補助額は高いと思うので、もう少し減らすべき
3)路線バスへの赤字補助は必要ない

③ 今後の、路線バスの維持と公共負担について、どのようにすべきだと思いますか。(1つだけ)

- 1)公共負担はこのまま継続して、赤字路線を維持していく
2)公共負担を減らすため、不便になっても、運行本数を減らすなどして運行経費を削減する
3)公共負担を減らすため、市民がバス利用を増やすなどして、路線バスの維持に協力する
4)公共負担を減らして、廃止となった区間には、路線バスより不便でも代替交通手段を用意する
5)公共負担を減らして、その分、運賃を値上げして利用者の負担分を増やす
6)バス利用者が減少して維持が困難になったら、廃止もやむを得ない
7)その他→具体的に_____

(3) 青梅市内の公共交通について、問題点や今後のあり方に関して、自由にご記入ください。